

事業又は施策名【担当課】

①成人式事業【生涯学習課】

委員コメント

市が実施する成人式について、その意義、内容、実施方法などを再度精査することが求められる。それに基づいて事業の目標を定め、それを評価する指標を設定することが必要である。特に「新成人の手作り成人式」を執行委員会形式で行うとすれば、執行委員会の構成をどうするか(組織化)も検討し、定めた目標などについて議論を深めることが求められる。この場合、市は事業の先頭に立つのではなく、執行委員会のファシリテートの役割を果たすことが必要となる。また、執行委員会の活動を担当課はきちんと評価し、次に繋げることも必要である。

事業の成果評価として、新成人の参加率75%としているが、今後も成人式事業が毎年続く可能性が高いこと(事業が廃止される可能性が低いこと)、これまで行政評価開始後、参加率に達成したことがないことなどを考慮すると、成果指標をどうするのか再検討してもよいのではないのでしょうか。むしろ、成人式が開催されるであろう前提に立ち、成人式の質の充実、あるいは執行委員会のがんばり?を成果指標にした方がよいのではないのでしょうか。特に、成人式事業は、執行委員会の活躍に多くを負うと思います。毎年メンバーが変わり、引き継ぎが難しいことを考慮しつつ、長久手市の将来を担う?であろう若者人材育成・地域のヤングリーダー開拓も視野に入れ、どれだけ安定的に執行委員会が運営されていくかが成果指標と関連する側面もあるのではないのでしょうか。

成人式事業においては、【新成人の参加率】を成果指標として管理されていますが、平成24年度以降の参加率は年々低下しております。参加率を上げる取り組みは、外的要因もあるため大変難しいものと思いますが、執行委員会の中で議論検討いただき、参加率向上に向けた取り組みをお願いいたします。

一方で、成人式自体の評価がなされていません。実行委員による反省や、参加者、保護者の満足度など成果指標を含めてご検討下さい。

・実行委員会方式は良いが、当然、新成人の実行委員は毎年人が替わるので、市としては、新成人の実行委員の主体性に任せ過ぎることなく、過去の実行委員の意見、また、成人式参加者の意見をしっかり分析し反映させていく等々、事業の意図に掲げる「仲間づくり」や「世人としての自覚」がより効果的に達成できるよう、これまで以上にしっかりとサポートしていく体制をとっていくことが必要であると思う。

・式典への参加率の向上、また会場の配席関係も大切であるが、所謂この様な「量」の問題にとらわれ過ぎず、「質」の向上に関する目標設定を掲げて頂くが良いのではないか。そのためにも、実行委員を行った方、成人式に参加した方々の、成人式に関しての意見、感想をアンケート等によってしっかり把握、分析し、事業の意図に沿ってそれを次回へ生かしていくというプロセスをしっかりと行って頂きたい。

・課題解決の一つとして実行委員の募集を、HP等に加え、もっと地域団体等にも働きかけることを是非考えてほしい。これにより、実行委員への参加者の増加も図られ、地域におけるつながりや仲間づくり、また、新成人に関する地域の意識向上にもつながることになると思う。

いつ頃からだろうか近年成人式には家族が参加している市町村があるらしい。その中長久手市の昨年度の家族の参加率は成人参加者の約3割、現実は無視できない状況だ。

課題は2つ。一つは限られた市内施設は文化の家、中でも収容最大ホールでも収容できない状況、参加者を成人のみに制限すべきか?、保護者は別ホールにすべきか?、選択肢は他にもあるが限られた時間でのメンバー討議が困難。

2つは成人対象者の実行委員会募集に参加者が少ないこと。

成人式とは「日本特有の式で成人に達する人々を招き激励祝福する行事」とある。

文化は年とともに変わって当然、新年度実行委委員会の新たな成人メンバーで成人式の意味を問い直し、成人自らが社会に対し成人として認めてもらえる式を企画立案し実行してほしいと思う。

実行委員会のスムーズな文化継承を提案した。

①新メンバーの実行委員会スタート時、前年度メンバーから良かった点や反省などを受ける場を設け、新企画への文化合流を果たす。